

菊池川水系上内田川

Kikuchigawasukei KAMIUCHIDAGAWA



After

Before



地域住民の 声が生んだ魚道。

支川との合流点付近において落差が生じ、魚類等が移動(遡上)を妨げる形態となっていたため、地域住民等から改善を強く要望されていました。既設の落差工を、自然石をはりつけた緩やかなスロープとして整備を行い、落差を解消したため、魚が遡上できるようになりました。



N33度4分27秒 E130度46分43秒
(33.074,130.779)